

令和元年度 長野県諏訪清陵高等学校・附属中学校評価表

	～21世紀をたくましく切り拓く人間の育成をめざして～
学校教育目標	① 一人ひとりの個性・能力の一層の身長 ② 自分で考えることができ、意見を積極的に主張できる人間の育成。 ③ 広い視野と「千萬人」の気概を備え、国際社会・地域社会で活躍できるリーダーの育成。 ④ SSHの成果をふまえ、先進的な取組みにより、本校の伝統ある理科・数学教育の発展を図る。将来有為な科学技術系人材の育成をめざすとともに、文系分野にすすむ生徒にも、科学・技術を人間・社会との関係まで見通しながら自ら判断し、行動できるための科学的要素を育む。
今年度重点目標	① SSHの諸活動（高校）やアカデミック・コミュニケーション（中学）を軸に課題発見能力の育成を図るとともに、主体的・対話的で深い学びを追求する授業改善をより一層進める。 ② 生徒それぞれの進路希望実現のため、学習指導、キャリア教育等の更なる充実を図る。また、特に高校において、高大接続改革に向けた研究や実践を進める。 ③ SC・SWも活用しながら相談支援態勢を充実させ、不登校や学校不適応の未然防止を目指す。 ④ 学校を内外に開き、生徒・保護者への情報発信に努める。また、いじめや体罰のない学校づくりをすすめ、より一層地域から信頼される学校を目指す。

教育目標	取組	評価の観点	担当分掌
課題発見能力の育成および、主体的・対話的で深い学びを追求する授業改善	①授業やテストにおいて、情報分析から課題発見を促すような発問や、答えが一つではない発問を多くし、考察、発表も行い、討論するような機会を多く設ける。	①授業やテストにおいて、課題発見を促すような発問、答えが一つではない発問を多く取り入れたか。	進路・学習
	②問題発見、課題研究などの授業や、その他のSSH諸活動が、生徒が自ら問題を発見し探究する機会となるように環境を整える。	②生徒が調べ、考え、討論できる環境を整え提供できたか。	SSH
	③自ら考えて課題を見つけ出し改善していくクラブ活動・学友会活動の実現。そのための顧問の助言や指導。	③クラブ活動の時間、場所を保障し、自ら考えられるようになる指導ができたか。	学友会
生徒それぞれの進路希望実現のため、学習指導、キャリア教育等の更なる充実。および高大接続改革に向けた研究・実践	①社会的・職業的に自立した人間の育成を目指し、合同HR、講演会等により、進路意識の向上を図る。また、進路研究への支援を行い、キャリア教育を推進する。	①進路係と各学年間の連携が十分に図れたか。生徒の進路意識を向上させ、高い進路目標を持たせることができたか。	進路・学習
	②整理テスト、定期考査、校内模試、校外模試の分析をもとに、毎日の家庭学習、土曜講座、テスト前後の学習の質と量の充実を図る。	②各種テスト後の分析を行い、その後の学習指導に分析結果を活かすことができたか。	進路・学習
	③学校における諸活動から課題を見出して探究的取組を行う。	③生徒の科学技術に対する理解が深まり、課題の発見と探究に対する意欲が向上したか。	SSH
相談支援態勢の充実と不登校・学校不適応の未然防止、およびいじめのない学校づくり	①生徒の立場に立って、心身の状態を深く洞察しつつ、成長を支援するための指導を行う。	①生徒の状況をつぶさに観察し、生徒の相談に十分に対応できたか。	生徒指導・特支
	②学校生活における全般的なモラルの向上に取り組む。	②生徒の自主性・自立性に寄与する指導ができたか。	生徒指導・特支
	③狭い枠組みを抜け出し、地域や社会を見通すことのできる態度を育成する。	③地域社会の人々、特に周辺住民から応援されるような学校になっているか。	生徒指導・特支
	④いじめを絶対に許さない校風を維持する。	④いじめ防止のために、機会をとらえての指導ができたか。	生徒指導・特支
		⑤いじめの早期発見につながる相談体制が十分に機能していたか。	生徒指導・特支
開かれた学校づくり	①ホームページのリニューアルを行って、更新回数を増やし使いやすいウェブサイトの運営を目指す。	①ウェブサイトによる情報発信は充実していたか。	教務
	②開かれた学校づくりを目指し、授業公開などを積極的に活用し保護者、地域、中学生に清陵高校を理解してもらう。「清水ヶ丘便り」、学校案内、パンフレットを活用する。	②本校の教育活動を保護者、中学校、地域住民等に十分に伝えられたか。	教務